

第2回

# のびのびセミナー

## ごあんない

参加無料

2009年2月7～8日 姫路獨協大学

姫路獨協大学は、地域の子育て・発達障害支援に取り組んでいます。

この度、発達障害支援に従事する療育関係者、教育保育関係者、及び保護者を対象としたセミナーを開催することにしました。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

### 参加申込方法

往復はがきにて、お申し込み下さい。

往信面に、参加者氏名・連絡先・交通手段(1. 公共交通機関(バス等) 2. 車利用 3. その他)を明記して下さい。

返信面には、返信先住所・氏名を明記し、下記、送付先へ郵送してください。

2009年1月30日(金)を申込締め切りと致しますが、先着順に受付の上、定員になり次第締め切ります。

- 送付先: 〒670-8524 姫路市上大野7-2-1 姫路獨協大学医療保健学部 のびのびセミナー係
- お問い合わせ Tel 079-223-6718 (村井研究室) E-mail nobinobi2009@gmail.com

主催: 姫路獨協大学医療保健学部 子育て・発達障害サポート運営委員会

共催: 国際ゾンタ 姫路ゾンタクラブ

後援: 姫路市教育委員会 日本スヌーズレン協会 日本感覚統合学会

のびのびセミナーは、姫路ゾンタクラブの助成を受け開催します。

## 自閉症者の世界

～当事者が語る“困り感”～

講師: 笹森理絵さん

1970年神戸市生まれ。幼い頃から集団の中での行動が苦手で叱られることが多く、学校に入ってから、国語や社会はいい点数が取れるのに、算数・数学はいくら頑張ってもできなかったとのこと。

32歳のときに、ADHD、アスペルガー症候群、学習障害、発達性協調運動障害という診断を受けられました。また発達障害をお持ちのお子さんの母親でもあります。

2005年にはNHK障害福祉賞第一部門優秀賞を受賞。

2006年よりNHK教育番組「ハートをつなごう」に出演されています。現在、当事者・母親・援助者として精力的にご活躍されています。



2 - 7 sat. pm.



2 - 8 sun. am.



2 - 8 sun. pm.

14:00～16:00

### ちょっと気になる子どもたち

(保護者向け 発達障碍入門講座)

太田篤志:作業療法学科・教授

最近、落ち着きがない、空気が読めない、変わったこだわりがある、運動が不器用であるなど“ちょっと気になる子”の存在が話題となっています。

そんな子どもたちの行動の意味を周りの大人が共感的に理解し、子どもたちと共に楽しく生活していくための考え方・アイデアについてお話させていただきます。

14:00～17:00

### こんな風に訴えてます

(支援者向け 自閉症講座)

小西紀一:作業療法学科・教授

「コミュニケーションの難しさ」を主訴として相談を受けることが多くあります。でも、その原因はこちら側の「パイプ」が閉ざされている「他閉」状態に起因する場合があります。こちらの「塀」を崩すとこんなにも豊かな「主張」が見えて来ます。

幾つか実例を通し、目の付け所のポイントを紹介させていただきます。

10:30～12:00

### もっと知ってよ 僕(私)らの世界!

村井弘育:作業療法学科・教授

重い身体や知的障碍を持つ子ども達にとって、私たちのこの世界はどのように見えるのか、そしてその世界を通じて私たちとどのように関わっていくのか。子ども達を知り、コミュニケーションを取っていく上で大切なことだと思います。

今回は、その子ども達の世界を考え、どのように関わり、日々の生活や楽しみを共感していけばいいのか。一緒に考えてみたいと思います。

### 子どもたちの保育園生活

森田恵子:こども保健学科・准教授

子どもたちは、本来、しっかりと生活の枠組みのなかで、初めて自分を思いっきり解放し、また見通しをもって生きていきます。しかし、集団生活の「生活の枠組み」には様々な矛盾をはらんでいるようです。これらの矛盾に積極的に健康的な折り合いをつけていくこと、そこを皆さんと一緒に考えたいと思います。

### みんなで楽しむ触れ合い遊び

江原千恵:こども保健学科・准教授

子どもたちと、ことばだけではなく、‘からだ’を通してコミュニケーションをとってみませんか。ご家庭や日常保育の中で、簡単にできる触れ合い遊びを紹介します。

13:00～15:00

### 自閉症者の世界

～当事者が語る困り感～

講師:笹森理絵 対談:小西紀一

ニックネームの「へんちゃん」は旧姓から由来したものは、誰も思わず変人の「変ちゃん」だと、ハナから信じられている。偏り(かたより)の「偏ちゃん」という説もある。配偶者として「奥さん」と呼ぶのは、その底知れない、ハカリシレナイ、奥深さに畏敬の念を込めた「奥深いへんさん」の略称からである。テレビを観るときは、登場人物ではなく、背景の模様や看板の文字を見ている。またシダ草の裏のブツブツを愛している。普段は、薄暗い隅っこに生息している。サバイバー(一連の発達障碍、また、その二次障碍など、生きているだけですごいような困難な状況を生き抜いた人)であることは間違いない。

“笹森理絵紹介文” By 配偶者

### プレイルーム

### 見学体験会

2/8 12:00-13:00

15:00-16:00

